

## 議員定数及び報酬に関する特別委員会の議事等について（案）

## 1. 議論のテーマ（市民への説明も視野に入れて）

- (1) 現状、市政において高山市議会はどんな役割を担っているのか？  
→ 市民に理解してもらうために改めて議会の役割を再確認
- (2) 全市一区、24名体制の評価は？  
→ 支所地域の振興への対応など、現体制の評価について議論
- (3) 地方分権や社会経済情勢の変化は行政活動や議会活動にどう影響するのか？  
→ 市を取り巻く状況の変化を認識し、行政活動と議会活動への影響について議論
- (4) 今後、高山市議会には何が求められるのか？具体策は？  
→ 討議性、専門性、創造性、市民性、多様性などの観点から（3）への対応を議論
- (5) 高山市議会の活動の「核」とは？  
→ （1）～（4）を踏まえ、常任委員会の活動が高山市議会の核となることを再確認
- (6) 常任委員会とは？  
→ 常任委員会の役割と活動量を再確認
- (7) 高山市議会の活動の核となる常任委員会の構成はどうあるべきか？  
→ 有識者の知見を踏まえ、常任委員会の構成人員数と常任委員会数について議論
- (8) 議長の位置づけはどうあるべきか？  
→ 議長の役割やあるべき姿について議論
- (9) 高山市議会の議員定数はどうあるべきか？  
→ （5）～（8）を踏まえ、高山市議会における議員定数の最低条件を整理
- (10) 議員定数の増減による議会活動と行政活動への影響は？  
→ （9）をもとに、議員数の増減による影響を評価

**※地域別市民意見交換会、シンポジウムの実施（上記議論の要点をPPに落とし込んで活用）**

- (11) 市民意見交換会等での主な意見への対応について  
→ 市民意見を類型化し分析するとともに、市民意見への対応を検討
- (12) 高山市議会の議員定数について（結論）  
→ 令和4年3月議会での委員長報告に向け、取組みの総括と最終的な考え方をとりまとめる

## 2. 確認事項（資料）

- (1) 高山市議会のあるべき姿 ※既出
- (2) あるべき姿を実現するためのポイント ※既出
- (3) これまでの議論のまとめ ※既出
- (4) 高山市役所の組織体制と事業及び予算
- (5) 高山市議会の活動量（議決数、調査対象事業数、政策提言数、市民意見交換会開催数等）
- (6) 他市の議員定数との比較（人口、面積、財政力、歳出における議会費比率）
- (7) 議員定数に関する有識者の見解
- (8) 高山市議会の議員定数についての市民意見（現時点まで）

※（4）～（8）は作成中、今後の議論に合わせて随時追加